



今年も、暑い夏の季節がやってきました。
 心配していた空梅雨は、幸か不幸か、杞憂に終わり、
 7月になった途端、雨が続いております。
 しかし、この梅雨が終われば、また楽しい夏がやってきます。
 仕事、勉強、スポーツ、と精力的に過ごし、いい夏をお過ごし
 いただけますよう、心よりお祈り申し上げます。

***** Sports Community & Intelligence Complex *****

【第6回総会報告】



去る6月9日、SCIXの第6回総会を行い、各項目に対し、審議を行いました。

SCIXは、全国ベースで活動するスポーツNPOとして、日本で4番目に認知されました。

その後、平尾理事長のもと、“コミュニティ”と“インテリジェンス”をキーワードに手探りで活動をしてまいりましたが、発足5年目の昨年は、スポーツ文化講座を6回開き、計526名の方に受講していただくことができました。スポーツにおける“知”の普及というSCIXの理念に大きく貢献できたものと思っております。今年も、大阪のみならず、東京での開催をめざし、活動の幅を広げていきたいと考えております。

また、SCIXラグビークラブは、社会人は関西Aリーグ昇格を実現。高校の部は、残念ながら兵庫県民大会第二回戦突破という目標は、強豪・関西学院高等部（ラグビー部）によってはばまれましたが、オール兵庫候補に2名選出されるなど、次年度に希望を持たせるめざましい成長ぶりでした。

“フットボールコーチングセミナー”および“神戸スポーツ夢フェスタ”などスポーツイベントの開催も実現。また、兵庫県下の高校などでスペースボールの指導を行ない、地域との交流を深めること、またコーチングの指導に助力することができました。

今年度は、これらの活動を継続していくとともに、念願の“ラグビー練習メニューデータベース”の発売が実現される運びとなりました。プレマーケティングでは高い評価を得ておりますので、スポーツの価値を高めたというSCIX独自の思いが反映されていくことを願っております。

新しい取り組みといたしましては、浦和レッズが計画している一大スポーツ施設が今年開幕されるにあたり、提携を検討中であります。レッズランドには、サッカー、フットサル、ラグビーをはじめ、さまざまなスポーツのグラウンドが設置されており、そのなかにSCIXのオリジナルゲームであるスペースボールのグラウンドを設置していただけるよう考えております。

また、スポーツクラブ用連絡システムのASP事業（ラグビーのスコア表、試合結果の集計、練習スケジュールの連絡、などのメニューを持つクラブ内連絡サイト）の検討も行なっております。

このように、SCIXは、今年度もさらなる飛躍をめざし、活動の幅を広げていくべく努力中です。今後とも、みなさまのお力をお借りして発展していこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



***** Sports Community & Intelligence Complex *****

【フットボールコーチングセミナー6】

‘05年6月26日 in神戸ウイングスタジアム

3種クリニック

燦々と太陽の日が振りそそぐ神戸ウイングスタジアムのピッチに、この日も約60名もの小学生が集まりました。観客席で子供たちの様子を見守っていた父兄の方々は、そのあまりの暑さに辟易としていましたが、子供たちは元気いっぱい。午前10時に、八木アナウンサーの司会でクリニックが始まると、勢いよくグラウンドに駆けだしていきました。



この日、指導にあたって下さったのは、ヴィッセル神戸スクール事業部、コベルコスティーラーズ、SCI Xラグビークラブ、関西学院大学アメリカンフットボール部の方々です。すでに何度もこのクリニックに参加してくださっているコーチの方もいて、子供たちの元気を受け止めるのはお手の物・・・という感じでした。

また、地域の指導者の方に、一流のコーチングを実際に拝見してもらい、今後のコーチングに役立てていただきたいという意図もありましたので、ピッチには、地元の小学校やクラブチームの指導者の方々も多くいらっしゃっていました。

サッカー サッカー サッカー サッカー サッカー サッカー サッカー



サッカーのクリニックでは、まずパスの練習から始まり、パスを出すときはコミュニケーションを取るため、相手の名前を大きな声で呼ぶようにとの指示が出されていました。

また、ボールを手で高く空に投げ、その間に何度手を叩くことができるか、という練習もありました。これは、ボールにどれだけ力を加えればどれだけ高く飛ぶか、どれだけ高く上げれば、何度手を叩くことができるかを体験することによって、空間的な判断力を養うという意図がありました。

最後には8つのチームに分けミニゲームを行ない、それぞれの場所をJ1、J2、兵庫選抜、北神戸のグラウンドと分け、勝てば昇格できるシステムにしていました。子供たちは、遊び心のある企画に、勝負に真剣になりながらも、楽しそうな様子でした。

ラグビー ラグビー ラグビー ラグビー ラグビー ラグビー ラグビー

ラグビーは、“スペースボール”を取り入れたミニゲームを行いました。ラグビーと違い、スペースボールのルールでは前にもパスが出せるため、平面的ではなく、立体的な視野を養うことができるというメリットがあります。視野が広がれば、情報が増え、さまざまな判断を瞬時に下していくことができます。

子供たちは、初めて経験するゲームでしたが、制約が少ないため、自由に動き回り、非常に楽しそうでした。



アメリカンフットボール アメリカンフットボール アメリカンフットボール



初心者の多いアメリカンフットボールでは、パスを受けるというアメリカンフットボールの基本的なプレーを中心に練習しました。腰にフラッグをつけて、タックルの代わりにフラッグを取るという“フラッグフットボール”も取り入れ、パスを受けたあと、フラッグを取られてないように注意しながら、敵を抜き去る、という練習を体験してもらい、アメリカンフットボールのおもしろさを知ってもらいました。

子供たちは、慣れない形のボールを受け取ることに苦労しており、中には顔面でキャッチしている女の子もいましたが、ボールを取る楽しさに目覚めたのか、みんな夢中で楕円形のボールを追いかけしていました。

***** Sports Community & Intelligence Complex *****

クリニック終了後、子供たちからは、「まだまだ練習したい！」との元気な声をいただき、ご父兄・指導者の方々にもご満足をいただきました。



◆◆スポーツフォーラム◆◆



午後からは、神戸ウイングスタジアム内研修室に場所を移し、“スポーツフォーラム”を開催しました。今回も、それぞれのフットボールの指導者や、その競技に関心のある方々が集まり、会場は満席でした。

テーマは、『コーチング～戦術からモチベーションへ～』。

情報が進む現在、“戦術の賞味期限”は、ことのほか短くなってきています。そこで、コーチングの新しい側面として、戦術重視型から、プレイヤー個々のモチベーションをアップさせることへ重点が移ってきていることが言えます。予め決められた戦略が読まれたとき、その苦境を打破できるのは、プレイヤー個々の力であると言えるからです。そのため、ゲーム中にプレイヤーが自ら状況判断し、千変万化のプレーを創造できるコーチングについて考えてみようというのが、今回のテーマを掲げた大きな狙いでした。

サッカーからは、姫路独協大学サッカー部監督・昌子力氏、ラグビーからは、元日本代表監督・平尾誠二氏、アメリカンフットボールからは、関西学院大学アメリカンフットボール部監督・鳥内秀晃氏をお招きし、持論を展開していただきました。

【ポイント】

『選手のモチベーションの高め方』

- ・基本練習と比べ、ゲームの時間が少なすぎるのが現状。ゲームをやってみると、うまくいかないことを自分で発見することができ、基本練習の大切さを実感することができる。必要性がわかれば、自ら練習するようになる（平尾氏）。
- ・子供たちに自主性を持たせるため、戦術から練習メニューまで、まず上級生に考えさせる（鳥内氏）。
- ・グループで分け、勝負させるなど、向上心を刺激することも時には大切（昌子氏）。



【ポイント】

『個人の能力を前提とした“戦術・戦略”とは？』

- ・原則論（パスは遅いより速い方がいい、など）は昔から変わらない。それをうまく機能させるためには、肉体的能力・判断能力両方大切だが、あまりにも戦術にとらわれすぎるとうまく機能しなくなる（昌子氏）。
- ・戦術に頼りすぎると、“素”の力が伸びなくなる。理屈抜きでやっている、最後の最後、戦術がうまく機能しなくなったときに、素の力がその展開を打破できる（平尾氏）。
- ・異端を排除するのではなく、受け入れる。平均 70 点の選手より、ある部分は 100 点、ある部分は 30 点という選手の方が光っている（平尾氏）。
- ・ずば抜けた選手には、自由にプレーをさせる。そういった選手は感受性が豊かで、1人で何役もこなすことができるため、抑圧するより、チームのためにもなる（鳥



内氏）。

また、質疑応答の時間では、企業における“個”の活かし方など、スポーツ以外でも注目されているコーチングについての質問なども積極的になされました。コーチの方々の懇切丁寧な回答に、質問者の方だけでなく、会場の方全員がご満足頂いている様子でした。



【入会案内(ご参考)】

(会員・会費について)

会員種別		入会金	年会費
正会員	個人会員	-	5,000 円
	団体会員	1 口 100,000 円 (何口でも可)	100,000 円
サポーター	個人会員	-	
	団体会員	1 口 50,000 円 (何口でも可)	50,000 円
WEB クラブメンバー	個人会員	-	-

(お問い合わせ)

SCIX事務局 〒651-8585
神戸市中央区脇浜町2-10-26
t e l : 0 7 8 (2 6 1) 4 0 4 6
e-mail : office@scix.org

SCIXは、みなさまのボランティアな支援によって支えられています。

【発行人】SCIX事務局 五十嵐慎哉

【編集】小林尚美

【発行元】SCIX事務局

〒651-8585

神戸市中央区脇浜町2-10-26

t e l : 0 7 8 (2 6 1) 4 0 4 6

e-mail : office@scix.org